

酪農宮崎

令和7年2月28日 印刷
令和7年3月 1日 発行

編集人:有馬 慎吾
発行所:宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<http://www.kei.mz-ja.or.jp/>
印刷所:宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.640
2025年3月



JAみやざき発足時セレモニー

3月号目次

酪農情勢報告	1	農学部ナンノ教授のひとりごと	9
JAみやざき包括承継	2	全酪連広告	10
令和6年度消費拡大実績	3	全農広告	裏表紙
消費拡大実績/写真投稿キャンペーン	4		
ランピースキン病について	5~6		
第11回 酪農女性部ランチミーティング	7		
農大通信vol. 11	8		



MILK UP!
プロジェクト



経済連H P

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和7年2月14日現在

指定団体	1月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	339,939	102.8	3,296,633	101.1
東北	38,861	101.1	375,451	97.7
関東	87,022	99.6	841,722	99.8
北陸	5,514	103.5	53,214	96.5
東海	24,488	97.2	236,616	97.5
近畿	11,700	98.0	113,087	98.6
中国	24,518	100.0	237,026	100.4
四国	8,585	97.4	82,617	96.9
九州	45,823	97.1	443,507	98.0
(内、宮崎)	5,695	100.0	55,218	101.3
都府県	246,511	99.1	2,383,241	98.7
合計	586,450	101.2	5,679,874	100.1

2. 販売状況

令和7年2月14日現在

用途	区分	1月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	237,726	98.6	2,459,076	97.8
	九州	30,301	96.1	309,388	96.5
はっ酵乳等	全国	33,214	100.1	354,488	99.1
	九州	6,528	99.6	72,266	101.6
特定乳製品	全国	172,046	104.9	1,435,378	104.5
	九州	6,796	99.0	39,255	107.5
生クリーム	全国	106,890	102.4	1,079,208	100.3
	九州	2,104	97.6	21,664	92.7
チーズ	全国	36,573	99.2	351,723	99.0
	九州	94	101.4	934	101.5
合計	全国	586,450	101.2	5,679,874	100.1
	九州	45,823	97.1	443,507	98.0

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 1月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	6 戸
80 t 以上 ～ 100 t 未満	1 戸
60 t 以上 ～ 80 t 未満	6 戸
40 t 以上 ～ 60 t 未満	29 戸
20 t 以上 ～ 40 t 未満	58 戸
10 t 以上 ～ 20 t 未満	51 戸
10 t 未満	17 戸
合計	168 戸
最高出荷量	600t/月
平均出荷量	34t/月

4. トピックス

J A 宮崎経済連「J A みやざき」へ包括承継

花の便りが北上する季節となり、皆様におかれましては、お健やかにお過ごしのことと存じます。令和7年3月1日より経済連を含め、中央会・信連の3連合会と県内3畜連(西諸・児湯・東臼杵)が「J A みやざき」に包括承継され、新たなスタートをきりました。J A みやざきの栗原俊朗組合長は「農業・農家を取り巻く環境は厳しさを増しており、J A みやざき役職員一体となり、本県農業の発展と地域の活性化に取り組み、組合員が安心して農業を継続できる組織づくりに励みたい」と話されました。連合会の包括承継により全国では、初めての完全な県下1 J A となり、地域密着の J A 事業・活動の展開を継続しつつ、これまでの枠組みを超えた更なる協同の取り組みにより組合員メリットの創出や事業機能、経営基盤の強化を目指します。酪農事業におきましても引き続き、①生乳生産基盤の維持・拡大、②酪農家の生乳生産性向上、③酪農理解醸成・牛乳乳製品の消費拡大の強化に取り組んでまいります。更には、これまでの経済連酪農課から J A みやざき本店酪農課とし、本店直轄(令和9年度よりのステージ3)に向けての機能の整理・整備に取り組んでまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

先日、J ミルクにより、令和7年度の生乳及び牛乳乳製品の需給見通しが公表されました。生乳生産量については、主力となる若齢搾乳牛の減少により北海道が微減産(前年比99.8%)、都府県が減産(同比98.3%)で全国では、2年振りの減産(同比99.2%)の見通しとなっています。牛乳乳製品の需給見通しでは、価格改定による家庭向けの水準が低調であり、発酵乳の好調を加味しても引き続き、牛乳乳製品の需要も低調に推移(飲用等向け同比100.3%)する見通しであり、脱脂粉乳・バターの製造量は前年を下回る(同比95.7%)見通しとなっております。生産量減少に伴い脱脂粉乳の製造量も減少の見通しとなりますが、需給緩和傾向は続き、脱脂粉乳とバターの需要不均衡の構造的な課題解決が急務となります。夏季の飲用需要期においては、生乳の安定供給が重要となり、生産現場では引き続き、適切な暑熱対策等の対応の徹底を図ることが必要となります。

令和6年度も残すところ、わずかとなりました。皆様から積み上げられた本年度の最終見込み数量が68,538tとなりました。これは、当初目標数量(71,065t)の96.4%となり、酪農家皆様の生乳生産に対するご理解によるものと考えております。乳質事故による生乳廃棄等が無いように日頃から注意していただいていると思いますが、油断することなく、日々の良質生乳生産に取り組んでいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

— 唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である —

酪農課 加藤 喜博

J A みやざきへの連合会包括承継に関するご案内

令和6年4月1日に県内13 J Aが合併し、J A みやざきを設立しました。そして、今回、令和7年3月1日に J A みやざきに6つの連合会を包括承継（統合）しました。これまでの連合会機能は、J A みやざき本店機能（一部事業は地区本部の関係部署）に移行します。

J A みやざきは6つの連合会と1つになり、名実ともに県1 J Aがスタートしました。中央会、信連、経済連の3連合会を統合した県1 J Aは全国でも初のこととなります。

農業情勢が厳しいなか、これまで以上に統合メリットを最大限に発揮し、持続可能な農業とより良い地域社会づくりに取り組んでまいります。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

J A みやざき代表理事組合長 栗原俊朗

包括承継した対象連合会

- ①宮崎県農業協同組合中央会（J A 宮崎中央会）
- ②宮崎県信用農業協同組合連合会（J A 宮崎信連）
- ③宮崎県経済農業協同組合連合会（J A 宮崎経済連）
- ④西諸県郡市畜産販売農業協同組合連合会（西諸畜連）
- ⑤児湯郡市畜産農業協同組合連合会（児湯畜連）
- ⑥東臼杵郡市畜産農業協同組合連合会（東臼杵畜連）



組織・職員等について

- ① J A 宮崎中央会・J A 宮崎信連・J A 宮崎経済連が有していた機能は、基本的に本店機能として移行します。
- ②連合会の子会社・関連会社等は、J A みやざきの子会社・関連会社等となります。
- ③西諸畜連・児湯畜連・東臼杵畜連は、関係地区本部にまたがる部署として、それぞれ「家畜市場運営部」へ移行します。市場の所在地や名称は従来どおりで変更ありません。
- ④6つの連合会の職員は、J A みやざきの職員となります。

経済事業からのお知らせ

J A みやざきが設立して約1年が経過したなかで、組合員の皆様へのさらなるメリット創出について検討を進めています。従来の経済連と地区本部の重複機能等の見直しを進めることで、本店・地区本部の機能再編に取り組みます。

販売事業・購買事業に関する手数料について、現在検討中ですので、**従来の経済連手数料を本店手数料に移行のうえ、J A みやざきを運営**させていただきます。

今後、ステージ3に向けて、組合員の皆様と十分な協議を行い、適正水準による統一手数料を設定します。

ご理解、ご協力の程よろしくお願いします。

令和6年度牛乳消費拡大の取り組み

JAみやざき酪農課 海野 真衣

令和6年度は、ミルクフェアやInstagramキャンペーン、各地域での搾乳体験やバター・アイスクリーム作り体験、県産牛乳の特別販売等を行いました。

加えてInstagramでの投稿キャンペーンや各地域で開催された多くの消費拡大イベントを通じて、より多くの方に牛乳の消費拡大を呼びかけることができたのではないかと感じています。

来年度も、体験や販売、SNS等を活用して、楽しく効果的な消費拡大運動に取り組んでいきます。



宮崎県酪農青年女性連絡協議会
父の日に牛乳を贈ろう！県知事贈呈

【Instagram写真投稿キャンペーン】

8/1～8/31に
Instagramにて
「#牛乳飲み顔選手権」
写真投稿キャンペーンを
実施しました。
(@miyazaki.milkup)



【みやざきミルクフェア2024】



6月1日2日にイオンモール宮崎にてみやざきミルクフェア2024を開催しました！！

搾乳体験、バター作り体験以外にも絵画コンクールやステージイベント、牛乳レシピ試食など内容盛りだくさんでした。

【「MIYAZAKI Delicious Market」2024出展】



酪農協議会役員による牛乳の振る舞いも行われました！

主な取り組み内容

広告	新聞	農業新聞	新年広告掲載 「毎月1日は牛乳の日」	父の日に牛乳を 贈ろう！	父の日に牛乳(ちち)を 贈ろうキャンペーン(県知事贈呈)	
	TV		「毎月1日は牛乳の日」「みやざき MILKUP!」テレビCM	イベント	みやざきミルクフェア2024	
	広報誌 「Mーション」		「6月1日は世界牛乳の日」「6月は 牛乳月間」広報誌への広告掲載		「MIYAZAKI Delicious Market 2024」出展	
購買運動			職場で1日1本牛乳を飲もう運動	キャンペーン	サンAカフェオレ特別価格販売キャンペーン	
			LL牛乳利用拡大推進運動		Instagram写真投稿キャンペーン	
PR	AZMLレストラン		宮崎県産牛乳の消費PR		第1弾	#牛乳飲み顔選手権
	JAビル		みやざきMILKUP! のぼり掲示推進		第2弾	#牛乳ベストマッチ

みやざきMilk Up! #牛乳ベストマッチ 写真投稿キャンペーンを実施しました!!!

JAみやざき 酪農課 海野 真衣

令和6年12月16日～令和7年1月31日まで「みやざきMilkUp! #牛乳ベストマッチ 写真投稿キャンペーン」を実施しました!

牛乳に相性ぴったりだと思う食べ物や飲み物の写真を投稿してもらうキャンペーンで、定番なものから意外! ?な組み合わせまで多くの方にご参加いただきました。

ぜひInstagramで「#牛乳ベストマッチ」と検索して皆さんの投稿を見てみてください!!!

MilkUpの公式アカウント (@miyazaki.milkup)

ホームページ (<https://miyazaki-milkup.jp/>)



ランピースキン病への備えをお願いします！

ランピースキン病とは

- ★ ランピースキン病ウイルスによる牛や水牛の「届出伝染病」
- ★ 主な症状は、皮膚の結節や水腫、発熱、乳量低下
- ★ 治療法はないが、発症牛は徐々に回復（死亡率1～5%）
- ★ ウイルスが侵入する要因は、感染した牛の移動・汚染した飼料や器具の移動、感染牛を吸血した昆虫などによる伝播



（参考）皮膚の結節

国内の発生状況

- ★ 令和7年2月10日時点で、福岡県で19事例、熊本県で3事例の発生を確認。感染牛が回復するまでの期間、牛や生乳などの移動や出荷を自粛。

発生予防

ポイント

◎ 農場内に持ち込ませない！

- ・導入牛はしっかりと健康確認、一定期間の隔離
- ・農場内に入る車両は殺虫剤を噴霧してハエ類を駆除

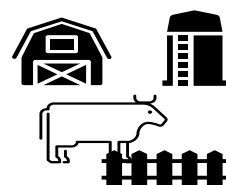
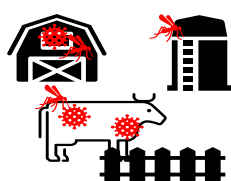
◎ 農場内で広げない！

- ・堆肥舎、牛舎での吸血昆虫の幼虫・成虫対策を実施
- ・サシバエ成虫が隠れる藪の下草刈り、防草シートの設置

◎ 農場外へ持ち出さない！

- ・農場から出る車両は殺虫剤を噴霧してハエ類を駆除

農場から農場への感染拡大防止！



宮崎のサシバエ対策は、寒いうちから！

スタートが遅れると、ハエの数は爆発的に増加します・・・



出典：農林水産省

- ★ 飼養牛に結節、乳量低下、発熱などの異常が見られた際には、すぐにかかりつけの獣医師や家畜保健衛生所までご連絡ください。



◎宮崎家畜保健衛生所：0985-73-1377
 (日南駐在)：0987-64-2212
 ◎都城家畜保健衛生所：0986-62-5151
 (小林駐在)：0984-22-7011
 ◎延岡家畜保健衛生所：0982-32-4308
 (高千穂駐在)：0982-72-2511

～第11回 酪農女性部ランチミーティング～

主催 宮崎県酪農青年女性連絡協議会
JAみやざき 酪農課

令和7年2月13日(木)に宮崎市の宮崎観光ホテルにて、第11回酪農女性部ランチミーティングが開催されました。このランチミーティングは、日頃から仕事・家事・育児に忙しい女性の方を対象に、慌ただしい生活から少しの時間離れていただき、リフレッシュしていただくことを目的に、毎年開催させていただいています。

今年は関係者を含め69名の方に参加いただき、普段お会いすることのない他の地域の女性部の方とも、交流を深めていただけたのではないかと思います。

ランチミーティング前の講演では、佐賀県で酪農業を営まれている松本裕子様に、「女性農業者こそワーク・ライフ・バランスを！」というテーマで、ご自身の活動もふまえながらお話していただきました。約1時間の講演をしていただきましたが、「忙しい日々を送る中でも、酪農家である自分自身が酪農を楽しむことで次世代にも繋げたい」という言葉から、自分達のことだけでなく、酪農の将来のことも考えながら仕事をされているのだと感じられ、とても印象的でした。

食事はビュッフェ形式で、皆さん好きな料理を選ばれ、周りの方とお話しながら、楽しい時間を過ごしていただきました。来年度以降も、女性部の方が楽しんでいただけるような企画を考えて開催していければと思います。



第52回 九州酪農青年女性酪農発表大会の開催について

寒い日々が続いてますが、毎日の飼養管理・農作業お疲れさまです。

標記につきまして、下記のとおり開催されます。県代表者の応援をぜひよろしくお願いいたします。
参加希望の方は、別途配布のチラシで各支部事務局にお申込み下さいますようお願い致します。

1. 開催日 令和7年4月16日(水)～17日(木)
2. 開催場所 沖縄県糸満市「サザンビーチホテル&リゾート沖縄」
(沖縄県糸満市西崎町1-6-1) TEL.098-992-7500
3. 発表者 【意見体験の部】 岡崎 博則 氏(こばやし地区本部)
4. 開催日程



(4月16日)	
受付	12:30～13:00
開会・挨拶	13:00～13:40
酪農意見体験の部(3名)	13:40～14:25
休憩	14:25～14:35
酪農意見体験の部(4名)	14:35～15:35
休憩	15:35～15:50
酪農経営発表の部(3名)	15:50～16:50
休憩(表彰準備)	16:50～17:30
審査講評	17:30～17:40
褒賞授与	17:40～17:50
閉会	17:50

交流会 19:00～21:00
※翌17日 解散



農大通信 vol.11 ~最後のふんばりどころ~

3月は別れの季節です。本校は2年制ですので、昨年度に入学してきた学生達もあっという間の巣立ちです。あどけなかつた新入生達は、あの日の面影を残しつつも、すっかり頼もしい姿に変わり、2年の間に目を見張るような成長を遂げてくれました。本当に感慨深いです。

卒業を前に、学生達はやらねばならぬことが山積みなのですが、その中でも【卒業論文】を書き上げることは一番大変なのではないでしょうか。本校では課題解決型学習を実践しており、生産現場で問題となっている事象を課題として抽出して、どのようにアプローチすれば解決できるのかを自らが考え、挑戦するという過程に向き合ってもらっています。その過程を論文としてまとめたものが卒業論文になるわけです。



九州プロジェクト発表大会の本校代表者と見学者一同

卒論を書く際に、同時に進めなければいけないことは【プロジェクト発表】です。要するに卒論の内容を皆の前でわかりやすく説明をする、というものですが、この発表、なかなか一筋縄ではいきません。分かっているはずのことが、いざ説明をしようとするとなかなか言葉にならず、何度も担任からダメ出しをくらい、その都度修正し・・・の繰り返しとなる学生も少なくありません。そんな修正ラッシュを乗り越えて発表の場を向かえても、次は教授陣からの厳しい質疑が待っています。もう、心身ともに疲

労困憊です。それでも卒論をまとめなくては卒業できません。書けども書けども終わりが見えない卒論マラソンに「これ、卒業できないじゃ・・・」「どうしてこんなことしないといけないんだ!?!」「あいつ(先生)はきっと自分のことが嫌いで合格させてくれないんだ!」と心がざわつくこともあるでしょう。そこを乗り越え、卒論の合格をもらい、ようやく晴れて卒業となるわけです。そりゃあ頼もしく成長するのも当然と言えますね。一つの作品として卒論を書き上げた学生達のやりきった顔を見ることができるようなのはやはり教員の特権だなと感じます。



卒論添削ではたくさん赤字(修正)が入ります

ちなみに、前述のプロジェクト発表は校内代表に選ばれると1月に開催される九州大会に進むことができ、更にそこでも優秀だと認められると全国大会に進むことができます。今の1年生からは誰が代表に選ばれるのかな、と今から楽しみにしているところです。



全国大会ではグループワークにも取り組みました

農学部 ナンノ教授のひとりごと

蛍の光

南野 快

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、とは誰が言い出したかは定かではないがこの慣用句、特に大学関係者としては実感するところが多い。何しろ入試(共通テスト、前期・後期の個別試験)や学部学生 of 定期試験に加えて獣医学科では4年生に課す共用試験、成績評価に卒業判定会議、卒業式等々、各種行事が目白押しである。特に卒業式は、研究室にそれまで3年間所属した卒業生との別れも意味するものの、感慨に耽っている間もなく時はどんどん進んでいく。

卒業式と言えば別れ、別れの歌と言えば「蛍の光」が日本では知られているが、「蛍の光」はスコットランドの民謡「オールド・ラング・サイン」(スコットランド語のAuld Lang Syne、英訳するとold long since、和訳では「久しき昔」)が原曲であり、原曲は新年や披露宴、誕生日で歌われることが多い。私は1995年から2年間、スコットランドの首都、エディンバラに留学していたが、そこで過ごした際に原曲が日本ではなくスコットランド民謡であることを初めて知り、「こんな日本的なメロディーが外国の曲だったなんて!」と、軽いショックを受けた。しかし、確かに、音楽の教科書には「蛍の光」の文字の横に「スコットランド民謡」と書いてあったことをうっすらと憶えているような気もする。「オールド・ラング・サイン」は1881年(明治14年)に尋常小学校の唱歌として、「蛍」の題名で採用された(その後、「蛍の光」に改題)。スコットランドの国民的詩人であるロバート・バーンズが、友情を謳うものとして歌詞を付けたが、日本では苦勞して学問を修める「蛍雪の功」が歌詞の土台となっている。

さて、この曲の日本語の歌詞が4番まであることを知っているだろうか? 今では2番でさえ、その歌詞をそらで歌える日本人は少ないだろうが、3番と4番はさらに馴染みがない。それもそのはず、3番と4番は護国の志を謳ったものであり、国威発揚の歌詞となって

いて、戦後に歌われることがなくなったので、戦争を知らない世代が3番以降を知らないのは無理もない。特に4番は日本の領土の変更がある度に当時の文部省が歌詞にある領土名を書き換えたらしい。また、日本が第二次世界大戦へと突入した1940年代初頭に米英の音楽は禁止されたが「蛍の光」は日本化されているとして禁止対象から除外されたとのことである。

平和の祭典であるオリンピック、その東京大会(1964年)の閉会式ではこの曲の大合唱で式典が締めくくられた。今年2025年は終戦後80年、世界ではまだまだ戦争が絶えない。慌ただしい毎日にあっても今一度、平和のありがたさをじっくりと深く胸に刻み込む必要がある。この3月、一人一人の卒業生にも、平和の世の中で暮らす幸せを実感としてかみしめてもらいたい。



写真: 2月中旬の東京都内で河津桜(カワヅザクラ)を見つけた。そして、その蜜を求めてやってくる代表選手がメジロである。同様の光景はM大学農学部のキャンパスでも遭遇できる。

ZENRAKUREN



初乳粉末製品

全酪連の牛用混合飼料

GOOD START

PREMIUM

グッドスタート プレミアム 内容量 250g/袋

免疫グロブリン
70g/袋以上
含有



和牛
にも!

消化・吸収・機能性に優れた各種成分を配合しました!

良質な
初乳粉末

中鎖脂肪酸

ビタミン
ミネラル

乳酸菌
ビフィズス菌

全卵粉末



全国酪農業協同組合連合会

くみあい配合飼料 乳配

くみあい配合飼料

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ



➤ 乳スタンダード

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現

